

チャペル週報

そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、
奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。
あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだ
からです。

(ガラテヤの信徒への手紙 3:28)



2007.10.9 ~ 10.12 No.14
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

- 10月9日(火) 院 林 昌 利 (神学部院生)
神 浦 上 充 (M1)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宣教師)
社 いのちを考える 川島恵美 (社会学部専任講師)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 音楽チャペル ゴスペルクワイア POV
商 音楽チャペル 関西学院聖歌隊
総 アメリカ海外授業体験 今泉ゼミ3年生
-
- 10月10日(水) 神 嶺 重 淑 (神学部准教授)
社 宗教総部によるチャペル
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 和 田 充 夫 (商学部教授)
理 秋学期開講礼拝「関西学院大学で学ぶ」尾崎幸洋 (理工学部教授・学部長)
総 今 泉 信 宏・KSC聖歌隊
-
- 10月11日(木) 神 向 井 考 史 (神学部教授)
文 田 淵 結 (宗教主事)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 音楽チャペル 関西学院聖歌隊
商 English Chapel Richard Stinson (宣教師)
総 ハピタット・サイクリング体験 総合政策学部学生
-
- 10月12日(金) 神 満 仲 弘 (M1)
文 永 田 雄次郎 (文学部教授)
社 いのちを考える 小西砂千夫 (社会学部教授)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
理 「前進のための後退」松木真一 (宗教主事)
-

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

10月12日(金) 産業研究所のために

伊 藤 正 一

総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40~

於 宗教主事室

ブレーメンの音楽隊

阿 部 卓 也

グリムの「ブレーメンの音楽隊」の話はよく知られている。ロバ、犬、猫、鶏、いずれも高齢で飼い主の役に立たなくなった4匹の家畜たちが、殺される運命を避けて、ブレーメンの町を目指す。「死ぬよりやましなことはどこへ行ったって見つかるさ」という名文句は、作家のカール・ツックマイヤーが作品で引用している。ブレーメンの真ん中の広場、市庁舎脇には、1953年に建てられた4匹のブロンズ像があり、町のシンボリックな存在になっている。

しかし驚くべきことに「ブレーメンの音楽隊」はブレーメンには行ってないし、当然、音楽隊にも入っていない。町に向かう途中の森で夜を迎えたとき、4匹は偶然「盗賊たち」の家を見つける。中を覗くと盗賊たちが豪華な夕食の最中。この悪い連中（盗賊ではない、動物たちだ）は悪知恵を働かせて、盗賊たちを脅かして出て行かせ、まんまご馳走にありつく。一度盗賊の手下が戻ってくるも、見事撃退して、そのままそこに居着いてしまい、安楽に暮らす。めでたしめでたし。と言うか、かわいそうな盗賊たち…。と言うか、ブレーメンと音楽隊はどこへ行ったんだ。

要するに、市民でも農民でもないアウトサイダー同士の分捕り合いの話なのだ。

そして ブレーメンの音楽隊 とは、4匹を結束させ、行動させる幻想、しかもかなり唐突な幻想である。なぜそもそも彼らがブレーメンに行って音楽隊に入らなければならないのか。事実物語の終わりで彼らがやっていることを見れば、それがまったく恣意的な幻想であることが分かる。

ブレーメンという固有名は元々の話にはなく、後で付加されたらしい。そもそも高齢で働けなくなった動物たちがブレーメンでなら音楽隊に入れて貰えると思うところが、当時のこの町の音楽のレベルに対する周囲の評価を反映していると考えられている。でも今のブレーメンの人たちはそんなことにはお構いなく、この話に愛着を抱いているようだ。

ではクイズ。グリムのテキストでは、ロバと犬は、音楽隊に行ってもそれぞれ何の楽器を演奏することに、というか、演奏するつもりになっていたらうか。

正解は、ロバがリュート（翻訳の多くで「ギター」になっている）、犬がティンパニ。蹄でどうやってリュートを弾くんだか。猫はセレナーデ（ドイツ語で「夜の音楽」Nachtmusik）が得意、鶏も声を買われており、いずれもヴォーカル志望だったと思われる。

（商学部准教授）

秋の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、秋の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いいたします。

期 間：10月9日（火）～12日（金）

受付場所：吉岡記念館

関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち36人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き：10月13日（土）10時～16時（途中昼休憩有り）

と ころ：ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）

指導者：高橋明子、太宰まり 主 催：吉岡記念館宗教センター

KSCチャペルオルガニストによる "Autumn Concert"

神戸三田キャンパスのランバス記念礼拝堂のパイプオルガンで、KSCチャペルオルガニストが得意曲を演奏します。お誘いあわせの上、ご来場ください。

と き：10月16日（火）12:45～13:25

と ころ：ランバス記念礼拝堂（神戸三田）

C D・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

大阪梅田キャンパスチャペルアワー

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎月第2水曜・第4金曜にチャペルアワーを開催しています。

10/10（水）、10/26（金）18:00～18:20 1405教室

【メッセージ】水曜日 樋口 進（宗教センター宗教主事）

金曜日 田淵 結（大学宗教主事）

関西学院会館の日曜礼拝

毎月第二・第四日曜日（午前10時～11時）関西学院会館ベーツチャペルで教職員・学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガルの形式。どなたでも参加出来ますのでどうぞお越しください。

10月14日・28日